

ヨーロッパ文化を「地域・街創り」の中で活かそう!

まつえ「カラコロ秋まつり」にヨーロッパ共同物産店を出店

10月6日(日)の「松江カラコロ秋まつり」において、ヨーロッパ共同事業体『LALA♪ヨーロッパ』のフランス、ドイツ、アイルランド、フィンランド、イタリア、スペイン、木次乳業の7団体：事業者がヨーロッパ料理や雑貨販売の共同店舗を出店しました。

多くの通行人に注目して頂きました。



★「LALA♪ヨーロッパ」の発足と目的・・・

「LALA♪ヨーロッパ」とは、「在住外国人が持つ国際文化」「各団体が行う国際文化事業」を街創りに活かす共同事業化を NPO エスペランサが提案したところ、フランスやドイツ、アイルランドやフィンランドと NPO など6団体で6月に発足。日本：国際両文化が交わる多様な地域文化の形成に向けて、キリスト教を土台に肉料理、チーズなど乳製品、ビールやワインなど共通の食文化紹介やヨーロッパ市場による物産販売を10月に計画しました。

★カラコロストリートに、ヨーロッパ市場(マルシェ)が出現・・・

初回のヨーロッパ市場を展開したのが「カラコロ秋まつり」。会場は松江カラコロ工房とカラコロ広場の中間の京橋の上。テント2張に7ブースを配置。ソーセージやパスタ、チーズやミルク、お菓子や雑貨の売り声。この日は朝から暑く、ミルクやビール、ソーセージがどんどん売れ、午後早々ドイツ、イタリア、スペイン料理は完売!またアイルランドチームが路上音楽ライブ。テント前にフランスチーム手作りのエッフェル塔やキリスト教会が鎮座。ドイツや

フィンランド民族衣装の女性も販売にがんばる。こうしたヨーロッパ市場の登場に通行人も注目。一時は盛況だったが、事前のPR不足や数百メートルのカラコロストリートには多数の屋台やフリーマーケットが開店し、終点近くに位置するヨーロッパ市場前を歩く通行者数は今一つだったのが、残念でした。



朝早くから準備...さあ、開店!



ヨーロッパ各国の雑貨販売&風景紹介!

★外国人などが持つ国際文化!

多様な地域文化創りに反映を!

今回のヨーロッパ市場は成果がありました。問題は、日常の生活や街の風景の中に国際文化をどのように取り込み、活かしていくのか?地域で暮らす多くの外国人と住民が、互いに尊重し合う文化関係をどう創るのか?今後、一歩ずつ試行しましょう。このヨーロッパ共同運動の向こう側には、アジアの文化共同も見えて来ます・・・



アイルランド音楽の路上ライブ



フィンランド・ドイツ民族衣装で登場!

大田市温泉津町に残る豊臣秀吉の朝鮮侵略史跡

「耳塚」を保存しよう！

「耳塚」と言えば京都のものが有名ですが、大田市温泉津町の路ぼうにも残っています。『山陰 温泉津』という冊子に、この耳塚が紹介されています。「むかし、豊臣秀吉の朝鮮征伐のとき、院内総兵衛という人が奮戦しました。そのとき総兵衛は敵兵の首をとって、働きにならないので、その耳だけをたくさん切りとってかえり、戦功のあかしとしましたが、あとで、総兵衛は、それらの敵兵の方々を供養するために、この耳塚をつくったとの言い伝えがあります。むかし

はお参りする人があとをたたなかったとの話であるが、今はお参りする人もなく、草に埋まっている」。当時、豊臣秀吉の命により、毛利系の地侍が朝鮮半島へ出兵した名残りの塚が、今、道路脇にひっそりとたたずんでいます。今後、この耳塚の現地見学や学習会など、この保存に向けた取り組みを検討します。



VLADIVOSTOK ツアー 2013 ! (ウラジオストック)



ニコライ二世凱旋門

機内食



ウラジオストックは、数年前に DBS クルーズが境港に就航したときから、一度は行ってみたいと思っていた街で、また、アクアスの白イルカもこの街の水族館から運ばれて来ているように、島根県とも関係の深い街です。8月にウラジオストックに行こうと誘われ、時期が盆の最中であつたことで随分迷いましたが、行って良かったと誘われたことを感謝しています。渡航にはビザが必要で、手続の煩雑さや不安もありましたが、旅行会社の親切なサポートと県立大学の留学生の協力もあって、とても楽しむことができました。

8月14日に、成田発ウラジオストック行きのS7航空機に乗り込むと、満席の中で大勢の日本人団体客がおり、旅行コースの人気の高さを知ることになりました。下調べで、ホテルのフロントや店員の対

応は機械的と知っていましたが、対面してみてもなほと実感できました。

着いて驚いたのが、陽が沈むのが遅いということです。8時過ぎても残照があるため、時差以上の時差を感じました。コンビニのような店でビールを買おうとしたら、販売時間が過ぎていたようで、何やら相談した後売ってくれましたが、きっとアル中には見えなかったからでしょう。

2日目の午前中は旧日本人街の見学で、モルゲン・ゾーヤ先生に案内していただきました。ウラジオストック駅、浦潮本願寺跡、旧堀江商店の他与謝野晶子記念碑の見学や松井須磨子といった名前も聞き、丁寧な説明でウラジオストックがいかにか日本と近い街であつたかということが理解できました。午後は、鷹の巣展望台を訪問し、居合わせたイギリス人旅行者から写真を頼まれ、ちょっとした会話もできました。



与謝野晶子記念碑



旧堀江商店

市外を一望した後、ルースキー島まで脚を延ばし、ウラジオストックを守る要塞を見学しました。砲弾の運搬、セットや兵隊の待機部屋など思いがけず見ることができました。

3日目は、帆船ナズデダ号を見学させていただき、学生の訓練のようすやプーチン大統領が訪問したときのビデオを観た後、記念撮影や船で作るパンを試食しました。帆船で世界を訪問しながら若者を育てていく姿に、ロシアの海洋事業にかける思いも伝わってきました。潜水艦博物館や大津事件で明治政府との関わりも深いニコライ二世の凱旋門、アンドレイ教会も訪ねることができました。ハードスケジュールですが、スーパーで土産物を買って、ロシア文化の一つ田舎で休暇を過ごすダーチャも訪問しました。

50歳後半の夫婦ですが、普段はご主人がダーチャの管理をし、週末に家族が集まって一緒に過ごしているとのことでした。少し遅い昼食をウォッカ

やビールを飲みながら、奥さんの手作りのボルシチや料理、パン、お茶を美味しくいただきながら、お酒が回るほどに会



ダーチャにて

話も弾み、楽しい時間を過ごせました。また、これもご主人が造ったバーニャと呼ばれるサウナも体験しました。熱した石に白樺の枝を浸した水をかけると、室内が一気に暑くなりドッと汗が出てきます。台で横になるよう、ご主人から促されると急に白樺の枝で背中を叩かれましたが、まさに裸の付き合いで本当に気持ち良かったです。ダーチャやバーニャは、普通のツアーでは体験できない思い出に残るものでした。

ホテルには中国人観光客があふれ、夜遅くまで大声騒いでいることと、帰国日にウラジオストック空港爆破予告で空港に向かう道路が通行止めになり大渋



ホテル近郊の夕陽

滞したこと（これも楽しい経験かも）を除けば、一緒に行った仲間の皆さん、ガイドをしてくれたバデコワさん、ダーチャのご夫婦やジャパン・エア・トラベルの長尾さんのおかげで、本当に楽しく得がたい経験ができました。また訪れてみたいと思っています。

スパシーバ バリショーエ (^ ^)

松江市 松宮孝吉

フィリピン台風被災者支援にご協力を!

昨年11月8日、フィリピン中央部に甚大な被害をもたらした台風30号(ヨランダ、ハイエン)。発生から2か月半が経ち、日本での報道は少なくなりましたが、死者・行方不明者は8,000人以上、避難者は現在もなお400万人以上と推計されています。島根県内では、前号でご紹介した「松江ピノイ・カピット・ビスィグ」のメンバーの皆さんが、いち早く街頭募金活動を実施されました。また、しまね国際センターさんとの協力のもと、引き続き2月14日まで支援金の受付をされています。どうぞご協力をお願いいたします。

(銀行振込の場合は下記口座へ、その他の方法、詳細は、しまね国際センターHPをご参照ください。)

* 支援金受付口座:

山陰合同銀行 県庁支店 普通 3656292

「フィリピン台風被災者支援金」

* しまね国際センターHP: <http://www.sic-info.org/>

日本ベトナム国交40周年 ベトナム人が日本の伝統文化を体験!

2013年は日本ベトナム国交40周年。日本やベトナム各地で記念事業が実施され、9月末には、この40周年TV番組が放映されました。NPO エスペランサは記念事業を計画しましたが、日程確保が困難なため中止。これに代わり、9月15日にはベトナム人5人が参加し、日本の生活文化体験として松江市内の伝統的日本家屋を訪問し、抹茶体験や和菓子を食べ、日本の暮らしについて、日本人4人とゆったりと茶話会を行いました。その後、近くにある、八重垣神社や神魂神社などを訪ね、楽しい半日を過ごしました。



「LALA♪ヨーロッパ」運動による国際文化活動

NPO エスペランサは「LALA♪ヨーロッパ」と共同し、10月6日の松江カラコロ秋まつりに「ヨーロッパ市場」出店前後に、松江市と出雲市でヨーロッパ諸国の暮らしや文化の学習事業としてフランスやアイルランド、ドイツの3ヶ国紹介講座を開催しました。



出雲市で、フランスとアイルランド紹介講座

出雲市ではフランスやアイルランドと行政や市民による交流関係があります。9月7日（土）、フランス出身ルークさんとアイルランド出身バーニーズさんの松江市国際交流員2人に講師として『フランスとアイルランド紹介講座』を開催。2人はパソコン画面で美しい自然風景や生活、文化などの紹介に対し、参加者17人は興味深く見入り、聞き入りました。この後、参加者から次々と多くの質問が出され、終了予定時間をオーバーする活発な会となりました。



出雲と松江で、ドイツの文化講座や料理教室

ヨーロッパ大陸中央に横たわる国ドイツ。今回、ドイツの町と交流を持つ鳥取市の国際交流員イネス・ミュラーさんのご好意により10月26日（土）は出雲市でドイツ紹介講座、27日（日）は松江市でドイツ料理とドイツ紹介講座を開催することができました。旧平田市では以前、ドイツと市民交流がありました。出雲では事務的ミスで市広報で予告できず参加者少数。だが、ミュラーさんのドイツ紹介に多くの質問が出され、予定時間をオーバー。近くの喫茶店へ移動し続行！翌日、松江で朝から子どもも参加しドイツ料理教室。みどりのスープ、玉ねぎタルト、りんごのホットケーキの3つの家庭料理を作る。参加者わいわい楽しく調理。完成後、さっそくドイツ料理三品を味わう。おいしい！この後、イネスさんによるドイツの話を楽しむ参加者。今回、NPO初のドイツ講座を楽しんで頂きました。

NPO エスペランサ 「出雲フランス語教室」

NPO エスペランサは、出雲市とミネラルウォーターで有名なフランスのエヴィアン市が友好関係にあることから、2010年10月に「出雲フランス語初心者コース」参加者を募集したところ25人が応募しました。そして講座終了後、参加者から継続要望があり、講師確保が困難ながら継続した結果、10数名が毎月1~2回の教室に出席し、今日まで3年間、フランス人ルークさんによるフランス語学習を続けました。今回、このフランス語学習者5名が、毎年夏期にフランス語講師を勤める母子が住むフ

開講3周年を迎え、会員が「楽しいフランス旅行を体験」

ランスのリヨンや、その友人が住むパリを10月末から10日間の秋のフランスを楽しみました。（「フランスの旅」報告は次号）

今後、フランス文化を「出雲の多文化な街創り」に活かしていく取り組みを検討します。

*NPO「出雲フランス語教室」参加者募集中！
→問合せ：090-9733-0910（江角）

